

ニュースクリップ & 映像教材

協会情報

■令和7年度版「視聴覚センター・ライブラリー一覧」発行

(一財)日本視聴覚教育協会では、標記「視聴覚センター・ライブラリー一覧」を昨年12月に発行した。令和7年4月1日現在の調査データにより、設置状況や組織体制及び財政状況など、視聴覚センター・ライブラリーの現況を示す一覧となっている。A4判・81頁・2,750円(税込)。本資料についてのお問い合わせは、(一財)日本視聴覚教育協会 TEL 03-3431-2186まで。

AV情報

■CP+(シーピープラス/CAMERA&PHOTO IMAGING SHOW) 2026

(一社)カメラ映像機器工業会では、「Make your world pop.もっと、盛れる。毎日、特別な日も。」をテーマに、標記カメラと写真・映像のワールドプレミアムショーをハイブリッド形式にて開催する。
 <日時>令和8年2月26日(木)～3月1日(日) 10:00～18:00(最終日のみ17:00。27日は12:00～一般来場)。オンラインは、令和8年3月31日(火)まで、アーカイブ配信。
 <会場>パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1)
 <内容>トークイベント、写真展、写真・動画撮影のワークショップ等。要事前登録制。入場無料。オンラインイベントは、参加登録不要。
 <問い合わせ先>CP+事務局
 MAIL info@cpplus.jp

■放送ライブラリー「アナウンサー体験教室」

(公財)放送番組センターでは、標記体験教室開催にあたり、参加者を募集している。

<日時>令和8年3月26日(木) 10:00～12:30(午前の部)、14:00～16:30(午後の部)

<会場>情文ホール(横浜市中区日本大通11横浜情報文化センター6階)

<対象>小学4～6年生。各回16人。

<内容>ニューススタジオでアナウンサー役に挑戦等。参加費無料。要事前申込。申込締切は、令和8年3月1日(日) 23:59。応募者多数の場合は抽選。

<問い合わせ先>放送ライブラリー

TEL 045-222-2828

研究会情報

■第88回教育実際指導研究会

お茶の水女子大学附属小学校、NPO法人お茶の水児童教育研究会主催により、「学びをあむ一関係性の中で生成される主体一」をテーマに標記研究会が開催される。

<日時>令和8年2月20日(金) 9:00～16:10、21日(土) 9:00～15:00

<会場>お茶の水女子大学附属小学校(東京都文京区大塚2-1-1)

<内容>学習指導、学年別協議会、講演等。要事前申込。申込締切は、令和8年2月15日(日)。参加費(資料代含)4,000円、学生2,000円。

<問い合わせ先>お茶の水女子大学附属小学校
 TEL 03-5978-5875

■ウェビナーシリーズ第2回「探究的な学習を深める教科書活用の可能性」

■全国ICT教育首長協議会情報

第8回「日本ICT教育アワード」受賞自治体決定!

全国ICT教育首長協議会では、GIGAスクールが推進されている中、首長や教育長が積極的に教育ICT環境整備に取組み、地域創生や学校活性化につながる優れた事例を顕彰するとともに、その事例を広く全国に周知し、教育DXをさらに推進することを目的とした標記アワードにおいて、第8回の受賞先21自治体を決定した。

○文部科学大臣賞 鹿児島県垂水市

「子供の未来を拓く情報活用能力の育成～垂水らしい教育DXの創造」

○総務大臣賞 愛媛県四国中央市

「AR教材と生成AIを連動させた新時代の学びと次世代型校務環境」

○経済産業大臣賞 東京都渋谷区

「多様な学びと教員の働き方改革を加速する渋谷の教育DX」

○デジタル大臣賞 鹿児島県鹿児島市

「デジタル学習基盤による自己調整的な学びの実現」

○全国ICT教育首長協議会会長賞

岐阜県恵那市

「未来を切り開く学びにチャレンジ～STEAM教育への挑戦～」

埼玉県久喜市

「一人ひとりの夢中が未来になる教育を、ここから。」

沖縄県嘉手納町

「教育DXと町全体!生成AI100事例で情報活用能力育成」

○日本視聴覚教育協会会長賞

東京都北区

「教育先進都市・北区 巡回型支援で広がるICT学びの輪」

○全国ICT教育アワード審査委員会特別賞

秋田県由利本荘市

「ゆりほんICT子供の学びアップデートプラン」
熊本県高森町

「教育DXによる地域活性化と人材育成」

○全国ICT教育首長協議会優秀賞

北海道南幌町／福島県福島市／富山県朝日町／長野県箕輪町／岐阜県岐阜市／静岡県吉田町／愛知県春日井市／愛知県大府市／愛知県日進市／大阪府枚方市／宮崎県都農町

なお、表彰式・受賞自治体実践発表などは、令和8年2月3日(火)、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区海岸1-7-1東京ポートシティ竹芝)において、全国ICT教育首長サミットの中で執り行う。詳細は、<https://www.ictmayors.jp/>を参照のこと。

<問い合わせ先> (一財) 日本視聴覚教育協会内 全国ICT教育首長協議会事務局
TEL 03-3431-2186

(公財) 教科書研究センターでは、標記セミナーをオンラインにより開催する。

<日時> 令和8年2月27日(金) 16:00~17:00

<内容> 教科書を活用した探究学習の進め方、コンクール応募のヒント等。参加費無料。要事前申

込。

<問い合わせ先> (公財) 教科書研究センター広げよう深めよう「教科書を使って探究学習」コンクール2026事務局

MAIL contact@textbook-exploration.com

■2025年度教育DX推進フォーラム

(一社)日本教育情報化振興会(JAPET&CEC)は、「教育DXによる自分らしい学びの実現～次期学習指導要領の方向性を考える」をテーマに、標記フォーラムを開催する。

<日時>令和8年3月6日(金)9:45~17:30、7日(土)9:45~15:30

<会場>国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

<内容>基調講演、パネルディスカッション、ICT夢コンテスト表彰式、最新教育ICT製品・サービス展示等。要事前申込。参加費無料。

<問い合わせ先>(一社)日本教育情報化振興会
MAIL jcedufo2025@japet.or.jp

■学級力向上プロジェクトオンラインフォーラム

(公財)理想教育財団では、「明日も来なくなる明るく安心できるクラスを目指して」をテーマに標記フォーラムをライブ配信により開催する。

<日時>令和8年3月7日(土)13:30~17:00

<内容>基調講演、実践事例発表、パネルディスカッション等。参加費無料、要事前申込、定員300名。申込締切は、令和8年3月6日(金)16:00まで。

<問い合わせ先>(公財)理想教育財団
TEL 03-3575-4313

コンクール・助成情報

■2026年度前期公募「NHKアーカイブス学術利用」研究

NHKでは、NHKアーカイブスを学術的に利用する研究者を募集している。

<応募者の条件>個人・グループでも参加可。ただし、以下にあてはまる方に限る。大学または高等専門学校、公的研究所に所属する教員・研究者で、かつ日本学術振興会科学研究費補助金の応募に必要な研究者番号を持っている方。他条件有。

<研究内容>自由だが、NHKアーカイブスの保存コンテンツの分析が研究論文の重要部分となっており、その閲覧が不可欠であるものに限る。また、学会誌等への寄稿論文、大学紀要への掲載論文、博士・修士論文等、アーカイブス学術利用の結果として「論文」の執筆が行われるものを前提。

<締切>令和8年2月27日(金)17:00

<問い合わせ先><https://www.nhk.or.jp/archives/academic/contact/>より投稿のこと。

■JAXA宇宙教育センター「2026年度教員向け研修」実施先募集

JAXA宇宙教育センターでは、学校で宇宙を素材とする教育を実践するため、教員を対象とした研修の実施先を募集している。

<応募条件>対象:各都道府県・市区町村の教育委員会、教科研究部会、任意の教員団体または幼稚園・保育園・小学校・中学校等、学校単位。教科:教科は問わない。実施方法:対面またはオンライン等。

<締切>令和8年2月27日(金)12:00厳守。

<問い合わせ先>JAXA宇宙教育センター学校教育支援
MAIL school_edu@ml.jaxa.jp
件名に「宇宙教育教員向け研修」と記入。

学会情報

■日本教育メディア学会2025年度第2回研究会

日本教育メディア学会は、「個別最適な学びと探求的な学び／一般」をテーマとした標記研究会を現地とオンラインのハイブリッドにて開催する。

<日程>令和8年2月22日(日)

<会場>中村学園大学2号館2501、2502、2503教室(福岡市城南区別府5-7-1)

<内容>AI時代の新たな学びである個別最適な学びと探求的な学びに関する実践研究、開発研究、能力育成、教師教育などの発表。参加費無料

<問い合わせ先>日本教育メディア学会事務局
MAIL office☆jaems.jp ☆を@に変更

文部科学省選定作品

■12月選定 DVD

「電気ができるまで!～いろいろな発電の仕組みを見てみよう～」10分<小学校中学年、社会／社会教育(小学校児童)、国民生活(環境・資源・エネルギー)>(株)放送映画製作所東京支社映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。



「はじまりの日本劇映画 映画meets歌舞伎」

国立映画アーカイブ主任研究員 大澤 浄

映画は世界の各地で演劇、とりわけ大衆演劇と共に成長・発展し、その国／地域独自の映画文化を花開かせてきた。日本における映画の発展も、歌舞伎を抜きにして語ることはできない。実際、明治・大正期にもっとも人気のあった娯楽は、芝居＝歌舞伎だった。

明治末期から大正期にかけて、映画（当時の呼称は「活動写真」）は歌舞伎の物語と俳優の絶大な力を借りて最初の飛躍を遂げ、それによって劇映画の原型が作られた。だが今となってはその事実も、映画ファンからも歌舞伎ファンからも、意外なほど忘れられてしまっている。

それも無理からぬ話で、その時期に作られた多くの映画作品が、ほぼ現存していないためである。となれば、国立映画アーカイブ（NFAJ）がやるべきことは1つで、所蔵する貴重な4作品を関連資料と共に公開したのが、サイト「はじまりの日本劇映画 映画meets歌舞伎」である（開設日：2024年3月27日）。

本サイトでは、1908（明治41）年から1921（大正10）年にかけて製作された歌舞伎を題材として歌舞伎俳優が出演した4本の劇映画を公開している。中でも『五郎正宗孝子伝』（1915年、天活、吉野二郎監督）（写真1）は、大歌舞伎のスター・五世澤村四郎五郎が出演した作品（ただし俳優名は伏せられている）で、まさに歌舞伎が映画と出会った、その歴史的な時期の記録として貴重である。四郎五郎はこの翌年、製作会社の天活と専属契約を結び、俳優名もきちんと公にして、草創期の映画スターの一人となる。

また本作は、現役の活動写真弁士や楽士たちによる声色掛け合いと和洋合奏という、当



写真1・『五郎正宗孝子伝』雪中場面



写真2・『五郎正宗孝子伝』脚本（NFAJ所蔵）

時の映画館における上演形態も復元していることが、もう1つの見どころ（聴きどころ）である。台本を作成したのは弁士の方々であるが、その基になったのは、四郎五郎のご遺族からNFAJに寄贈された脚本だった（写真2）。その意味で本復元版は、モノ（映画フィルムや関連資料）と、ヒト（寄贈者や弁士・楽士の皆さん）とが最良の連環を作り、作品が現代に甦った好例と言える。映画アーカイブ活動を継続する我々にとっても、冥利に尽きる瞬間である。

教材は、下記URLにアクセスください。

<https://eigameetskabuki.filmarchives.jp/>